

つらら：水の滴りが凍ったもので、軒下や木の枝などに垂れ下がる。

中学校の入学説明会



2月9日（火）に、6年生を対象に中学校の入学説明会が行われました。例年、緑園中学校の体育館に、森の里小と開西小、両校の児童と保護者が一堂に会して行われておりますが、今年度は新型コロナウイルス対策により、児童は森の里小学校で、保護者は緑園中学校での説明会となりました。

当日は、緑園中学校教諭の長内直樹先生（本校の卒業生）と、亀谷知樹先生（緑園中学校の卒業生）が来校し、中学校生活を主に学習と生活に分けて説明していただきました。

説明の途中には、社会科のミニ授業もあり、子ども達は積極的に発言をしたり、反応したりしていました。説明の中で印象的であったのは「挨拶と返事」をしっかりとすることや、勉強以外にも夢中になれることを見つけてほしいという話でした。

最後の質問コーナーは「新中1は何クラスになりますか」等の質問が出ていました。中学校の先生からは、今現在3クラスを予定していると回答をいただいていた。

6年生の子ども達が、中学校生活に期待を膨らませたことと思います。6年生の保護者には、案内を配布しましたが、今現在、卒業生と保護者2名までで、卒業式を実施する予定です。



亀谷先生と長内先生



大型テレビで分かりやすく説明



森の子学級の歩くスキー



体育のスケート学習

ボランティアに感謝

年が明けても降雪がなく、完成が心配されたスケートリンクでしたが、1月25日に無事完成し、予定通りの学習を実施することができました。（明日のオーバルがスケート学習の最後）

新型コロナウイルスの影響により、例年より人数を縮小しましたが、今年度も全学年のスケートと森の子学級の歩くスキーをボランティアの皆さんにサポートしていただきました。

スケート学習は、柴田芙美子さん（地域）と田村美樹さん（PTA）、歩くスキーは水野弘一（PTA）にご協力いただきました。帯広市の学校支援地域本部事業を活用し、ボランティアの皆さんにご協力いただいています。今後も感染症対策に留意しながら、外部講師の積極的な活用を行っていきます。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

● 電話相談

☎ 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

● メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

● 来所相談

(10~16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL:<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

おびひろ市民学 4年生

防災教室

2月2日(火)に、4年生の「おびひろ市民学」で防災教室を行いました。

帯広市役所危機対策課の西澤さんを講師に、前半はクイズ形式で地震や水害への備え、災害時の避難の仕方についての学習をしました。

学習の後半では、担架を使った実習を行いました。また、様々な防災グッズの紹介もしていただきました。



30周年記念事業 本棚の整備

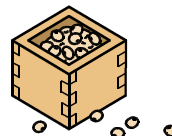


開校30周年を記念して、帯広市より本棚を2台寄贈していただきました。新型コロナウイルスに關係する予算で、図書室の本が例年以上に整備されました。本を整理する棚が不足していたことから、とてもありがたい寄贈となりました。

本棚の上部には、全校児童が3センチメートル四方の木材に、好きな文字やイラストなどを描き、「もりさと三十」と飾りつけをしました。当面の間、玄関ホールに設置しておく予定です。

本に親しみながら、いつまでも大事に使わせていただきたいと思います。

今年の節分は



今年は、124年ぶりに2月2日の節分となりました。節分の日、学校のリンクに、赤鬼と青鬼が登場し、見事なスケーティングを披露してくれました。

一般的に、「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきを行います。一部の地域や神社によっては「福は内、鬼も内」と言うところもあるようです。次回2月2日が節分になるのは2025年です。2057年と2058年には2年連続で2月2日になるようです。

